



(児童生徒の代表から花束を受け取り五輪での活躍を約束する選手たち)



(左から畠山陽輔選手、高橋大斗選手、阿部雅司コーチ、小林範仁選手、湊祐介選手)

# 目指せメダル！バンクーバー五輪

世界で活躍する北秋田出身3複合選手が凱旋講演

ノルディックスキー複合の市出身3選手を招いて「カナダ・バンクーバーオリンピックに向けて」と題した特別講演会が4月23日、森吉総合スポーツセンターで開催されました。

この特別講演会は、森吉クマゲラスポーツクラブ設立準備委員会（佐藤豊治会長）が主催し、阿仁出身の高橋大斗さん（阿仁中 鷹巣農林高 北海道東海大 土屋ホーム）と小林範仁さん（阿仁中 花輪高 日大 東京美装）、湊祐介さん（阿仁中 鷹巣農林高 日大 東京美装）の地元3選手のほか、リレハンメル五輪複合団体金メダリストで全日本スキー連盟の阿部雅司コーチ、大館市出身で2月に現役を引退したトリノ五輪出場の畠山陽輔さんが出席し行われました。

湊選手「勝負いすることなく、1走とていい流れを作ることができた」  
高橋選手「意外と悔しい思いはせず、間近でメダルの瞬間を見られたことに感動した。今度は自分もその場に立ちたいと思った」  
と3選手が述べると、最後に、阿部コーチが「今まで大斗が1人で日本を背負ってきたが、昨年ぐらいから若い選手が育ってきた。ムードメーカーの小林を中心にチームの雰囲気よくなったことが結果につながった」と勝因を述べました。

## 世界選手権を振り返って

司会者からの世界選手権の感想についての質問に対して、  
小林選手「小学校時代から積み重ねてきた力が、あそこで出たと思う。体格はかなわないが、ハートでは負けていなかった」

## 阿部コーチから見た3選手は

続いて、司会者から「阿部コーチから見た3選手は」の問いに、「湊選手は体は大きいですが、シャイで優しい。なかなか闘争心を表に出さない。今回の世界選手権では珍しくそれが表に現れた結果が金メダルにつながった。これからは表に出すこと」「小林選手は明るく、常にチームの中心人物チームのムードメーカーとして日本チームを盛り上

けてくれる」高橋選手はこれまで日本のトップとして、日本チームを引っ張ってきた、その後姿を見て若手選手が育ってきており、チームの良きお手本」と3選手を紹介しました。

## みんなにチャンスはある

このあと、話題は競技を始めたきっかけや体調管理方法、遠征中の失敗談などに及び、その中で講演会に参加した児童生徒へのアドバイスとしてオリンピックに出るために何が必要かとの問いに対して、  
畠山選手「毎日の積み重ねが大事。練習だけでなく、食事、睡眠も十分に」  
湊選手「夢に向かって、叶えようとする意識が大切。努力を楽しむこと」  
高橋選手「オリンピックに出たいと思ったことはないが、ひとつひとつ目の前の課題をクリアしていくことが結果に」

湊選手「出るからにはメダルを取りたい。そのためには、課題を克服するため、がむしゃらに練習していく」  
小林選手「五輪では余裕を持ってかつこいいガッツポーズをしたい。そのために練習し、皆さんにメダルを見せたい」  
高橋選手「体調管理を万全にし、いい結果を出して、またこうして皆さんの前で報告したい」  
と抱負を述べた後、全日本コーチとして阿部コーチが「世界選手権では金メダルを取ることが出来たが、奢ることなくチャレンジ精神を忘れず、挑戦者の気持ちで精いっぱい頑張ります」と決意を述べました。



小林範仁選手

町から3人も世界で活躍する選手が生まれ、エールを送りました。

## 目指すは金メダル

また、次期五輪に向けては、

質疑応答の最後には、世界選手権など日本代表のチームリーダーとして長く世界を舞台に選手生活を送ってきた経験から阿部コーチが児童生徒に対して「夢を持って生きてほしい。夢をなくす、叶えられないのは夢が逃げていくのではない。夢自体は逃げない、逃げていないのは自分であることを忘れず。夢を持って、いつまでも追いかけてほしい」とスポーツ選手としてだけでなくこれからの人としての生きかたの参考となる言葉を語りかけました。

最後に、児童生徒の代表から講演会に出席した選手たちに花束が手渡され、五輪での活躍と声援を約束して閉会しました。